

手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来

第39回 全国育樹祭

10月11日、谷汲緑地公園をメイン会場に、皇太子殿下のご臨席のもと、第39回全国育樹祭が開催されました。
多くの町民が、皇太子殿下をお迎え・お見送りしました。



皇太子殿下は、まずお手入れ会場に到着されました。昭和32年に第8回全国植樹祭で昭和天皇、香淳皇后がスギの木をお手植えされ、昭和51年には、今上天皇が皇太子時代に同妃殿下とともに、お手入れの様子をご視察されています。今回、育樹祭のお手入れ行事で初めて間伐が行われ、皇太子殿下がスギの木にのこぎりを入れられました。このことにより、皇室三世代にわたって、揖斐川町の森林づくりに関わっていただいたこととなります。



お手入れをされる皇太子殿下。お手入れの介添えは、谷汲小学校の児童が務めました。





谷汲踊保存会、谷汲中学校、たにぐみ幼稚園の3世代で谷汲踊を披露



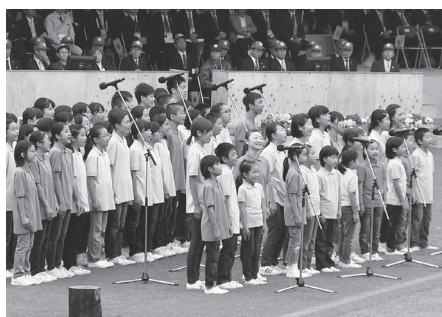
竹下景子さんと一緒に司会を務めた揖斐小学校6年の杉島康将さんと所結さん

「手から手へ 豊かな緑で ぼくらの未来」を大会テーマに、県内外から約5800人が参加し、町内の小中学校や幼稚園をはじめ、約500人が、司会や音楽隊などの出演者として活躍しました。式典に先立ち行われたプロローグでは、谷汲踊と龍神舞が披露されました。

また、町内の中学生らが「君が明日と呼ぶものを」を合唱し、会場内に歌声を響きわたらせました。揖斐川中学校吹奏楽部やいびがわ女声コーラスを含む式典音楽隊が奏でる音楽が流れるなか、皇太子殿下が式典会場に到着され、式典が開始されました。



式典音楽隊



北和中学校と坂内中学校が参加した合唱



夜叉ヶ池伝説道中まつり実行委員会による龍神舞



清流の国ぎふ誓いの火



町内幼稚園による鼓隊演奏と三旗入場

式典では、町内の幼稚園児の鼓隊演奏で国旗、国土緑化推進機構旗、岐阜県旗の三旗が入場し、国歌独唱にあわせて掲揚されました。また、清流の国ぎふ誓いの火も入場し、100年先の森を育む誓いとして、森湊灯台に点火されました。この火は、鶴飼のかがり火、陶雲窯の火、刀鍛冶の火、代々続くいろりの火、乗鞍山頂で太陽から採取した火、花フェスタ成功の火の6か所の火を合わせたものです。



皇太子殿下のお言葉

皇太子殿下より、お言葉を賜りました。

挨拶に先立ち、この度の「平成27年9月関東・東北豪雨」により亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被災された方々にお見舞いを申し上げます。災害からの復旧が一日も早く進むことを願っております。

第39回全国育樹祭が全国各地から多くの参加者を迎え、ここ岐阜県の谷汲緑地公園において開催されることを喜ばしく思います。

岐阜県は、県土の8割が森林で占められており、この森林からもたらされる清流がくまなく巡る、美しい自然に恵まれた地であります。また、スギやヒノキの生産を始め、県内各地で林業活動が盛んに行われるとともに、地域特有の自然環境がよく残されており、林業関係者を始め県民の皆さんのたゆみない努力の賜物であると思います。

58年前に昭和天皇、香淳皇后がお手植えになり、その後、天皇后両陛下が皇太子同妃両殿下時代に御視察になったスギの手入れとして、先ほど、私は、全国育樹祭では初めてとなる間伐のため、鋸入れを行いました。長い歲月の間に、力強く成長した姿に深い感慨を覚えながら、木々の成長を促し、災害にも強い森林を育てる上で、間伐が適切に行われることは、とても意義深いことと感じました。

森林は、山地での災害防止、林産物の供給、水源の涵養等、多面的な機能を果たすことで人々の暮らしを豊かにしてきました。また、温暖化防止や生物多様性の保全など、地球環境の



保全に果たす役割も大いに注目され、期待されています。

このような森林の大切さを思うとき、緑を守り、育んできた技術や文化を次の世代に引き継いでいくことは、私たちに課せられた大きな役割であり、近年、企業やボランティア団体の皆さんの自主的な森林整備活動の取組が広がっていると聞き、大変うれしく思います。

本日表彰を受けられる方々を始め、日頃から各地域において国土の緑化に尽力されている全国の皆さんに敬意を表するとともに、その活動が、より多くの人々によって支えられ、更に発展していくことを期待します。

終わりに、この度の大会テーマである「手から手へ豊かな緑でぼくらの未来」にふさわしく、先代から受け継いだ森林を守り育て、次の世代へ引き継いでいく活動の輪が、ここ岐阜の地から世界へ、そして未来へと大きく広がっていくことを切に願い、私の挨拶といたします。



北方小学校みどりの少年団活動発表



みどりの贈呈



緑化功労者の表彰

緑化功労者の表彰が行われました。町内では、平成27年度全国育樹活動コンクール農林水産大臣賞の揖斐自然環境レンジャー(代表 渡辺信行さん)と、岐阜県緑化等功労者の仲野啓雄さんが表彰されました。

県内の緑の少年団が育てた苗木を、県外の緑の少年団へ贈られる、みどりの贈呈が行われました。町内では、大和小学校のみどりの少年団が育てたケヤキの苗木を山形県の北辰小学校へ贈りました。みどりの少年団の活動発表では、北方小学校が発表を行いました。

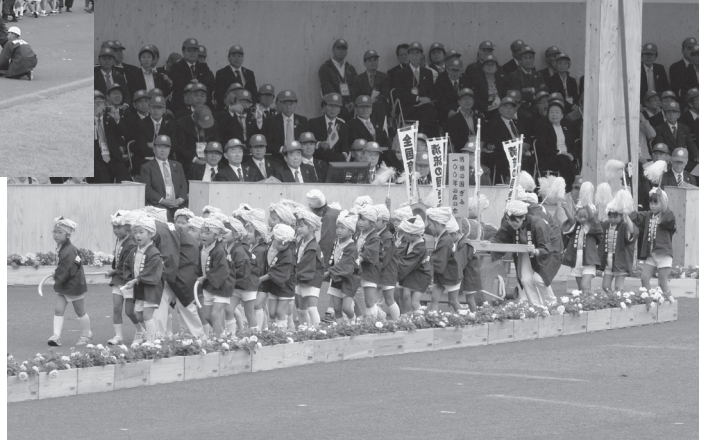
メインテーマアトラクションでは、町内の幼児園児、小学生らが出演し、大会を盛り上げました。

式典の最後に、宗宮町長とともに伊藤英明さんが登場し、会場の参加者と一緒に拍子木を打ち鳴らし、式典が閉じられました。





町内の林業関係者や小学生による丸太立て



町内幼稚園児による木曳き



宗宮町長による閉会の言葉と伊藤英明さんによる拍子木打ち鳴らし



町内小学生によるメインテーマアトラクション



揖斐川歴史民俗資料館で視察のようす

式典の後、皇太子殿下は揖斐川歴史民俗資料館をご訪問されました。高橋宏之館長の説明により、揖斐川流域の産業や生活や支えてきた舟運を中心に、揖斐川とともに暮らしてきた揖斐川町の歴史をご視察されました。

